

平成27年度 第46回 全九州高等学校バスケットボール春期選手権大会

男子決勝

主審 松本究
副審 柿原実
原田拓朗

福大大濠 71

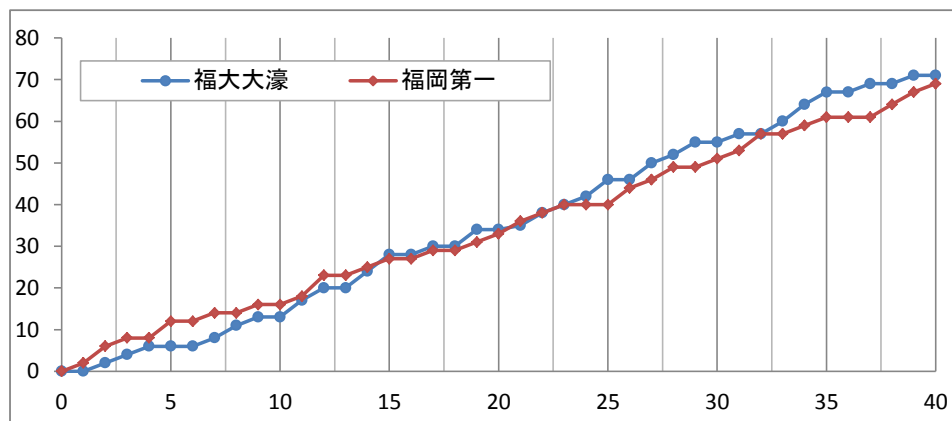
(福岡1位) ○

13	—	16
21	—	17
21	—	18
16	—	18
—	—	—

69 福岡第一

● (福岡2位)

No. 14A4 日時: 2016年2月14日(日) 13:30 会場: 薩摩川内市運動公園体育館A4



福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 鍵富 太雅 (C)	12	0	5	2	2
5	* 西田 優大	27	5	6	0	2
6	川島 聖那	1	0	0	1	0
7	桐山 慶太	-	-	-	-	-
8	青木 亮	4	0	2	0	3
9	中崎 圭斗	-	-	-	-	-
10	永野 聖汰	-	-	-	-	-
11	上塚 亮河	1	0	0	1	0
12	立野 友也	2	0	0	2	2
13	* 渡嘉敷 直輝	6	0	3	0	4
14	* 児玉 修	11	0	4	3	1
15	* 井上 宗一郎	6	0	3	0	1
16	山本 晃輝	-	-	-	-	-
17	若松 真	-	-	-	-	-
18	藤井 宏治	1	0	0	1	0
コーチ	片峯 聡太					
合計		71	5	23	10	15

福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 重富 周希 (C)	10	0	4	2	2
5	* 重富 友希	17	0	6	5	2
6	* 松本 礼太	8	0	4	0	3
7	バムアンゲイジョナサン	2	0	1	0	1
8	* 土居 光	4	0	2	0	3
9	三角 敬祐	-	-	-	-	-
10	平子 啓太	-	-	-	-	-
11	小野 絢喜	0	0	0	0	2
12	* 蔡 錦鈺	28	1	11	3	4
13	吉居 大誓	-	-	-	-	-
14	井手 拓実	0	0	0	0	2
15	比嘉 聖人	-	-	-	-	-
16	長野 雄大	-	-	-	-	-
17	大角地 漱水	-	-	-	-	-
18	原 拓海	-	-	-	-	-
コーチ	井手口 孝					
合計		69	1	28	10	19

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

福岡県勢対決となった大濠vs第一の決勝戦は両チームともマンツーマンでスタートする。立ち上がり第一は#12蔡の3連続得点やブロックショットなどで2-8とリードする。その後大濠はゾーンディフェンスに切り替え、早い展開から#5西田の3Pなども決まり、徐々に点差を詰め13-16で第一が3点リードして1Qを終える。

第2Q 第一もゾーンに切り替え、#5重富(友)のバスケットカウントや#4重富(周)のカットインで得点を重ねる。一方の大濠も#15井上のリング下の合わせなどで食らい付く。残り5分大濠#5西田の速攻からのバスケットカウントが決まり逆転に成功し、第一がタイムアウトを取る。その後はシーソーゲームとなり35-33と大濠が2点リードして前半を終了する。

第3Q 大濠はゾーン、第一はマンツーマンでスタートした。第一は#12蔡の3Pやブロックショットからのブレイクなどで点数を重ねるが、大濠も#5西田の3Pや#14児玉のミドルシュート、#8青木のリング下の合わせが決まり46-40で大濠が6点にリードを広げ、第一がタイムアウトを取る。タイムアウト後第一は#12蔡のリング下のショットや#6松本のカットインなどで同点に追いつくが、大濠は#4鍵富のドライブからのレイアップなどで55-51と大濠が4点リードして第3Qを終了する。

第4Q 両チームともマンツーマンでスタートする。立ち上がり第一は#4重富(周)、#5重富(友)がドライブで切り込んでシュートを決め同点に追いつくも、大濠は#5西田のドライブや3Pが決まり、逆転を許さない。その後両チームとも点を取り合い、残り3分大濠#8青木のミドルシュートが決まり、69-61と8点差がついた所で第一がタイムアウトを取る。タイムアウト後、第一は#6松本がブレイクからレイアップを決め、前線からプレッシャーをかけ逆転を狙う。徐々に点差を詰め、#5重富(友)のミドルシュート、レイアップが決まり、第一が71-69の2点差に詰め寄るも、最後は大濠が落ち着いてボールをキープしてタイムアップ。大濠高校が2年ぶりの優勝を飾った。

記事者	廣森 拓也 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会
-----	---------------------------